



ATMX+関連ファンド 2周年企画

ATMX+関連ファンドに いくら投資してる？



企画について

今回のファンドレターでは、大和アセットマネジメント社員でATMX+関連ファンドに投資している人の投資状況についてヒアリングし、その結果をまとめました。ヒアリングでは以下の項目について、ATMX+関連ファンドを現在保有している4人の当社社員の方に質問しました。

ヒアリング項目

- | | |
|------------|------------|
| • 保有ファンド | • 平均取得単価 |
| • 評価金額 | • 評価金額推移 |
| • 評価損益（金額） | • 累積投資金額推移 |
| • 評価損益（%） | |

本当はもっとたくさんの人にヒアリングしたかったのですが、①そもそもATMX+関連ファンドを持っている人が多くない（当該ファンドの純資産残高を見て頂ければ明白かもしれませんが）、②保有している人であっても損失が発生しており、プライバシーが守られるとは言え開示したくない、などの理由から公開できる人数が少なくなっていました..。

企画背景について

今回の企画を考えた背景は、自分がATMX+ホルダーとして、当該ファンドを持ち続けることに、孤独や不安を感じることもあるからです。

ファンドの基準価額は、設定時（ファンド運用開始時）より著しく低下しており、中国株の長期的な成長性に期待して投資してくださっている、ほとんどのATMX+ホルダーの皆さまは損失を抱えていると思われます。加えて、ATMX+関連ファンドは決して残高が多くない（≡投資している個人投資家の人数が多くない）ファンドですので、何万のフォロワーを要するインフルエンサーが取り上げることはもちろん、SNS上やオフラインの場で個人投資家同士の会話の種になることもほとんどありません。

たとえファンドの将来性に確固たる自信を持っているとしても、損失が2年近く回復せずむしろ拡大し続け、さらに自分の周りやSNS上でも話題に上がることがないファンドを保有し続けることは、容易なことではありません。

理屈では、当社社員の投資状況を開示したところで、自分たちの投資状況が改善するわけではありませんし、ATMX+ホルダーの皆さまの経済的・金銭的リターンが改善するわけではありません。ですが、**今回の情報発信が少しでも、中国株の長期の成長性に期待してくださっているATMX+ホルダーの方々のご参考になればと考えて、本ファンドレターを作成いたしました。決して、自社社員の投資状況を世の中にひけらかすことを目的として作成したわけではございません。**そのことをご理解いただければ幸いです。

次のページからのヒアリング結果をご覧くださいにあたっては、以下の注意事項に加え、ファンドレターP16に記載の「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご確認ください。

最後にはなりましたが、また改めまして、係る投資状況・投資環境にあってもATMX+関連ファンドをお持ちのATMX+ホルダーの皆さま、誠にありがとうございます。今後ともiFreeNEXT ATMX+、iFreeレバレッジ ATMX+、そして大和アセットマネジメントを何卒よろしくお願い申し上げます。

注意事項

- ATMX+関連ファンドとは「iFreeNEXT ATMX+」と「iFreeレバレッジ ATMX+」の2つを指します。
- ATMX+ホルダーとは、ATMX+関連ファンドに投資して下さっている受益者の方々のことを指します。
- ヒアリング内容に加え、ファンドに関する各種事項については、データ基準日・取得時点の情報であり（過去の実績であり）、当該ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- ヒアリングを実施した当社社員の選定にあたっては、全社的に呼びかけを行ったわけではなく、レター執筆者と関係がある社員（仕事上の付き合いがある、オフィスにおける席が近い、年齢が近く普段から交流があるなど）の中から、①ヒアリング時点でATMX+関連ファンドを保有している社員かつ、②ヒアリング許可をいただいた社員、にヒアリングを行っています。つまりヒアリングを受けた社員の選定にあたっては、サンプルセクションバイアスが生じている点についてはご留意ください。
- 重ね重ねですが、今回ヒアリングを実施した社員は、ヒアリング実施以前からATMX+関連ファンドを保有している社員です。つまり「ヒアリング企画を話した後、当該ファンドを広告することを目的として、ATMX+関連ファンドを購入した、購入してもらった」というようなことは行っていません。また当社として、そのようなことをヒアリングを受けた社員に対して強制していません。
- ヒアリング実施時点ではATMX+関連ファンドを保有していたとしても、今後の相場の変動によって、当社社員が自分の意志によって当該ファンドを売却する場合があります。
- 当社社員が自己の計算で行う投資信託の取引については、法令等諸規則や内規等を遵守のうえ、行っていきます。



Tさん

投資スタイル：積立+ナンピン型

| 保有ファンド

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

| 投資状況

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

評価金額

-

¥626,143

評価損益（金額）

-

-¥1,083,257

評価損益（%）

-

-63.37%

平均取得単価

-

¥2,994

| 評価推移

— 累計投資金額

— 評価金額

(円)

1,800,000

1,350,000

900,000

450,000

0

2021/05

2021/11

2022/05

2022/11

データ基準日：2023/03/16

※上記情報はデータ基準日時点の情報であり（過去の実績であり）、当該ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※評価推移は、情報提供者の売買情報と当該ファンドの運用情報を基に、大和アセットマネジメントが作成しています。※購入時手数料は、評価推移作成にあたっては考慮していません。※ナンピンとは、保有している銘柄の基準価額/株価が下がったとき、さらに買い増しをして平均購入単価を下げることで（定義は使用する個人によって様々です）。



Kさん

投資スタイル：少額積立停止型

| 保有ファンド

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

| 投資状況

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

評価金額

-

¥3,003

評価損益（金額）

-

-¥13,311

評価損益（%）

-

-81.59%

平均取得単価

-

¥4,995

| 評価推移

— 累計投資金額

— 評価金額



データ基準日：2023/03/16

※上記情報はデータ基準日時点の情報であり（過去の実績であり）、当該ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※評価推移は、情報提供者の売買情報と当該ファンドの運用情報を基に、大和アセットマネジメントが作成しています。※購入時手数料は、評価推移作成にあたっては考慮していません。



Mさん

投資スタイル：長期塩漬け型

保有ファンド

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

投資状況

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

評価金額	¥28,929	-
評価損益（金額）	-¥21,071	-
評価損益（%）	-42.14%	-
平均取得単価	¥9,584	-

評価推移



※上記情報はデータ基準日時点の情報であり（過去の実績であり）、当該ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※評価推移は、情報提供者の売買情報と当該ファンドの運用情報を基に、大和アセットマネジメントが作成しています。※購入時手数料は、評価推移作成にあたっては考慮していません。※塩漬けとは現在の価格が買い値よりも下がっていて、売ると損が出る状態で長期保有していることをいいます（定義は使用する個人によって様々です）。



Kさん

投資スタイル：一部解約型

| 保有ファンド

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

| 投資状況

iFreeNEXT ATMX+

iFreeレバレッジ ATMX+

評価金額

-

¥165,455

評価損益（金額）

-

-¥178,705

評価損益（%）

-

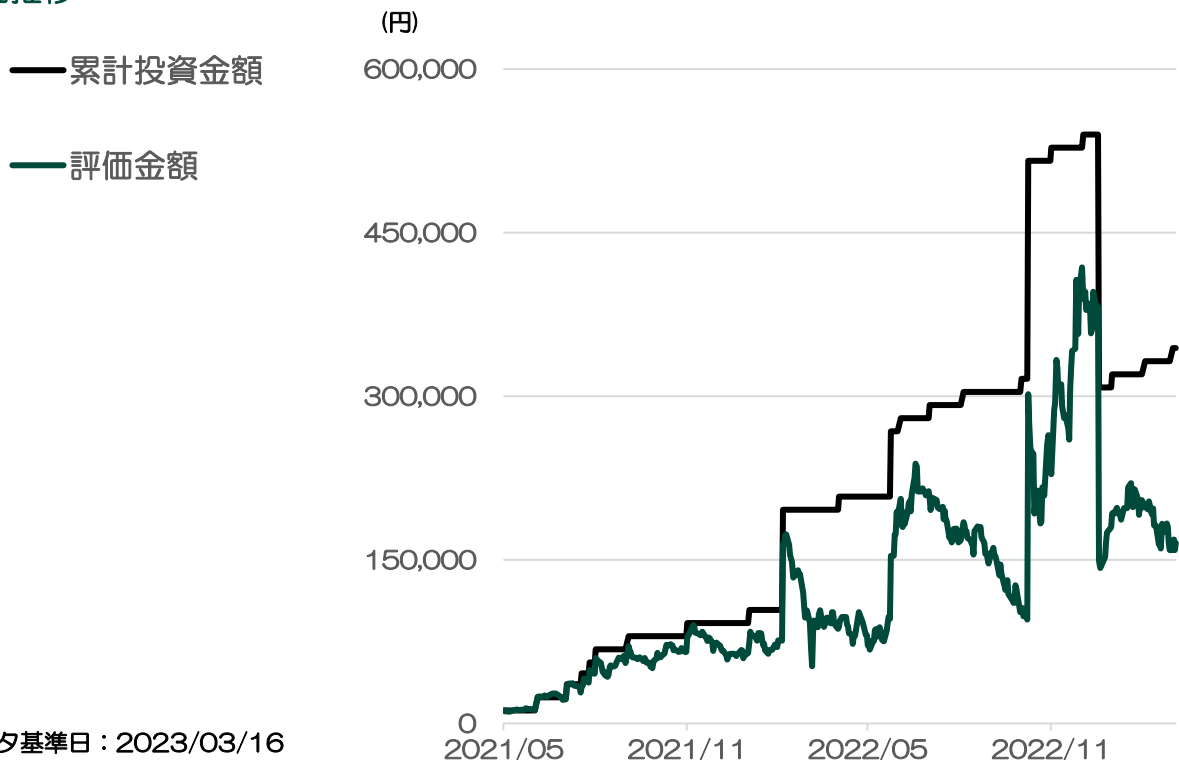
-51.93%

平均取得単価

-

¥2,492

| 評価推移



データ基準日：2023/03/16

※上記情報はデータ基準日時点の情報であり（過去の実績であり）、当該ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※評価推移は、情報提供者の売買情報と当該ファンドの運用情報を基に、大和アセットマネジメントが作成しています。※購入時手数料は、評価推移作成にあたっては考慮していません。

iFreeNEXT ATMX+

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

香港の株式に投資し、FactSet ATMX+ 指数（円ベース）の動きに連動した投資成果をめざします。
（注）「株式」…DR（預託証券）を含みます。

ファンドの特色

1. 香港の株式に投資し、投資成果を FactSet ATMX+指数（円ベース）の動きに連動させることをめざして運用を行ないます。

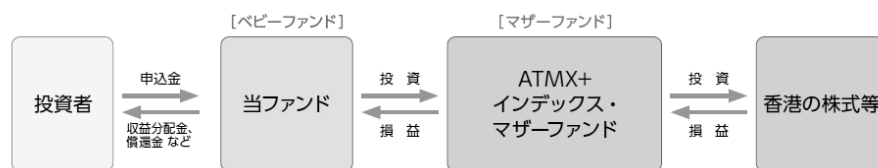
運用の効率化をはかるため、以下の資産を組み入れることがあります。

- ・ FactSet ATMX+指数の 2 倍の値動きを享受する債券（円建）
- ・ 中国（香港を含みます。）の株価指数に連動する ETF（上場投資信託証券）
- ・ 中国（香港を含みます。）の株価指数に連動する ETN（上場投資証券）

●為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてペーパーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



●FactSet ATMX+指数について

FactSet ATMX+指数は、香港証券取引所に上場している「中国企業」の中で、業種（テック関連）・成長性・インペーション指標の3要件を満たした銘柄のうち時価総額上位 10 銘柄を対象に構成された株価指数です。FactSet ATMX+指数は、これらの企業に等金額投資したポートフォリオで構成されています。

※当指数は、半期（4・10月）ごとに指数構成銘柄入替および等金額となるようリバランスを行ないます。

FactSetは、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、その中に含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSetは、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSetは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSetは、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害（逸失利益を含む）に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

iFreeNEXT ATMX+

I 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 ※徴収している販売会社は ありません。	—
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 （信託報酬）	年率 0.781% （税抜 0.71%）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	（注）	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

（注）「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日（休業日の場合翌営業日）および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券および上場投資証券は市場価格により取引され、連動債券と併せ、その組入状況により費用が変動することなどから、費用を表示することができません。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

iFreeレバレッジ ATMX+

I ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざします。

ファンドの特色

1. 日々の基準価額の値動きが FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍程度となることをめざして運用を行います。

※基準価額は、原則として計算日に知り得る直近の日の清算値段または最終相場が反映されます。

※香港証券取引所の営業日において FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍程度となるための調整を行なうこととします。そのため、日本の休業日前後の基準価額の値動きが、FactSet ATMX+指数（香港ドルベース）の値動きの 2 倍から乖離する場合があります。

以下の投資対象から流動性等を考慮してその配分比率を決定します。

- 連動債券
 - ダイワ・マネースtock・マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券
 - 株価指数先物取引
- ※上記投資対象以外に、上記投資対象と同様の投資成果が期待できる資産を組み入れることがあります。
※連動債券について、くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「連動債券の概要」をご参照下さい。

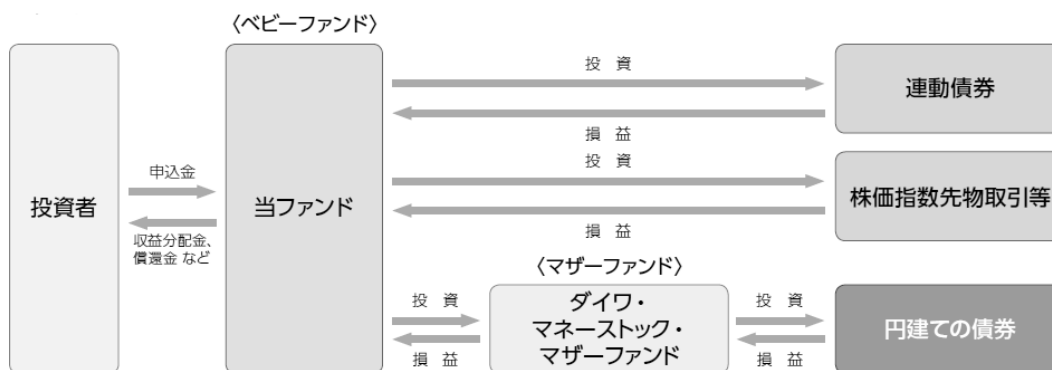
為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いません。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

2. 当ファンドは、ファミリーファンド方式での運用の他、連動債券および先物取引等を通じた運用により投資成果を享受します。

ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



iFreeレバレッジ ATMX+

●FactSet ATMX+指数について

FactSet ATMX+指数は、香港証券取引所に上場している「中国企業」の中で、業種（テック関連）・成長性・イノベーション指標の3要件を満たした銘柄のうち時価総額上位10銘柄を対象に構成された株価指数です。

FactSet ATMX+指数は、これらの企業に等金額投資したポートフォリオで構成されています。

※当指数は、半期（4・10月）ごとに指数構成銘柄入替および等金額となるようリバランスを行いません。

FactSetは、FactSet ATMX+指数の正確性および、または完全性を保証するものではありません。また、そのに含まれるデータおよびインデックス使用許諾者は、いかなる誤り、欠落または中断について責任を負うものではありません。FactSetは、インデックスの使用許諾者、当ファンドの所有者、または当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの使用に起因する他の人物または組織によって得られる結果について、明示的または黙示的に保証されるものではありません。FactSetは、明示的または黙示的を問わず、いかなる保証もせず、当インデックスまたはそれに含まれるすべてのデータの商品性、特定の目的または使用への適合性について、一切の保証を明示的に否認します。これに限定されず、FactSetは、たとえそのような損害の可能性について知らされていたとしても、特別損害、懲罰的損害、間接的損害または派生的損害（逸失利益を含む）に対する責任を一切負うものではありません。

FACTSET DOES NOT GUARANTEE THE ACCURACY AND/OR THE COMPLETENESS OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN AND LICENSOR SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY ERRORS, OMISSIONS, OR INTERRUPTIONS THEREIN. FACTSET MAKES NO WARRANTY, EXPRESS OR IMPLIED, AS TO RESULTS TO BE OBTAINED BY LICENSEE, OWNERS OF THE PRODUCT, OR ANY OTHER PERSON OR ENTITY FROM THE USE OF THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. FACTSET MAKES NO EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, AND EXPRESSLY DISCLAIMS ALL WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR USE WITH RESPECT TO THE FACTSET ATMX+ INDEX OR ANY DATA INCLUDED THEREIN. WITHOUT LIMITING ANY OF THE FOREGOING, IN NO EVENT SHALL FACTSET HAVE ANY LIABILITY FOR ANY SPECIAL, PUNITIVE, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING LOST PROFITS), EVEN IF NOTIFIED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

iFreeレバレッジ ATMX+

I 投資リスク

●当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「価格変動リスク・信用リスク（株価の変動、公社債の価格変動）」、「株価指数先物取引の利用に伴うリスク」、「連動債券への投資に伴うリスク」、「連動対象の指数に関するリスク」、「集中投資のリスク」、「為替変動リスク」、「コントリブ・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等、連動債券の流動性に関するリスク）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※一般に、対象指数が上昇・下落をしながら動いた場合には、基準価額は押下げられることになります。

※レバレッジ運用を行なう先物取引や連動債券への投資においては、一般に借入金利に相当する負担があります。そのため、長期に保有する場合、金利負担が累積されます。

※為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行なう際、日本円の金利が組入資産の通貨の金利より低いときには、金利差相当分がコストとなり、需給要因等によっては、さらにコストが拡大することもあります。

※レバレッジ倍率に比した高リスク商品であり、初心者向けの商品ではありません。

※長期に保有する場合、対象資産の値動きに比べて基準価額が大幅に値下がりすることがあるため、そのことについてご理解いただける方に適しています。

※ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。

日々の基準価額の値動きは、対象指数の値動きの「ちょうど2倍」になるとはかぎりません。その主な要因は次のとおりです。

- イ. 対象指数の値動きと、連動債券が内包する担保付スワップ取引に起因する連動債券の値動きとの差
- ロ. 対象指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差
- ハ. 株価指数先物取引の約定価格と終値の差
- ニ. 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動
- ホ. 運用管理費用(信託報酬)、監査報酬、売買委託手数料等の負担
- ヘ. 株価指数先物の流動性が低下した場合における売買対応の影響
- ト. 株価指数先物の最低取引単位の影響
- チ. 配当利回りと短期金利の差
 - ※将来の金利水準によっては、さらに乖離が拡大する場合があります。
- リ. 為替変動により、株価指数先物取引の買建ての額を円に換算した額が、目標としている額から乖離することにより、目標とする投資成果が達成できない場合があること

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

iFreeレバレッジ ATMX+

I ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限) 2.2% (税抜 2.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.034% (税抜 0.94%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 連動債券	年率 0.19%程度	連動債券にかかる費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用の 概算値	年率 1.224% (税込) 程度 (連動債券にかかる費用等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。)	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引・スワップ取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注) 当ファンドおよび連動債券における「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券および上場投資証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

iFreeレバレッジ ATMX+

I 基準価額の値動きについて

1 ファンド保有期間が2日以上の場合の投資成果は、通常「2倍程度」になるわけではありません。以下の【例1】および【例2】をご参照下さい。

【例1】翌日に対象指数が10%下落し、翌々日に対象指数が10%上昇した場合

	基準日	翌日(前日比)		翌々日(前日比)		翌々日と基準日の比較
対象指数	100	90	-10%	99	+10%	-1%
当ファンドの基準価額	100	80	-20%	96	+20%	-4%

○「翌々日」と「基準日」とを比較し、
当ファンドの基準価額は $(96-100) \div 100 = -4\%$ であり、
対象指数の値動き $(99-100) \div 100 = -1\%$ の2倍とはなっていません。

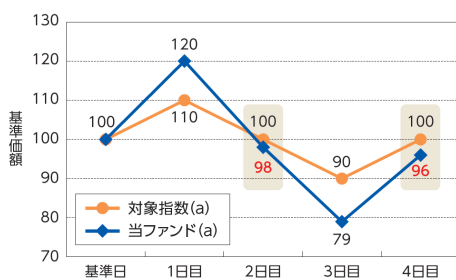
【例2】翌日に対象指数が10%上昇し、翌々日に対象指数がさらに10%上昇した場合

	基準日	翌日(前日比)		翌々日(前日比)		翌々日と基準日の比較
対象指数	100	110	+10%	121	+10%	+21%
当ファンドの基準価額	100	120	+20%	144	+20%	+44%

○「翌々日」と「基準日」とを比較し、
当ファンドの基準価額は $(144-100) \div 100 = 44\%$ であり、
対象指数の値動き $(121-100) \div 100 = 21\%$ の2倍とはなっていません。

2 一般に、対象指数が上昇・下落をしながら動いた場合には、基準価額は押下げられることになります。以下の【例1】および【例2】をご参照下さい。

【例1】対象指数が±10の範囲で上昇・下落を繰り返した場合



左図の「2日目」、「4日目」において「対象指数(a)」は「基準日」と同じ「100」ですが、「当ファンド(a)」はそれぞれの時点において「100」以下となっています。このように、「対象指数(a)」が上昇・下落を繰り返した場合には、「当ファンド(a)」の基準価額は時間の経過とともに押下げられることとなります。

※上記グラフにおいて示される各数値は、小数点以下を四捨五入して算出した値です。

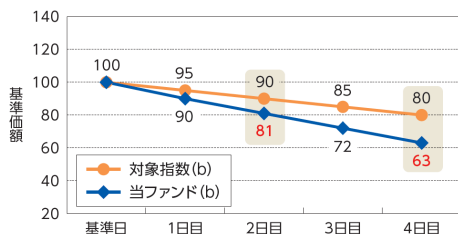
※上記は、基準価額の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意下さい。

iFreeレバレッジ ATMX+

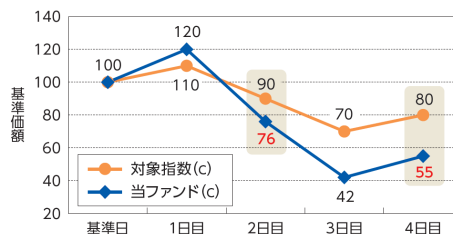
[例2] 対象指数が

「(1)一方向的に推移した場合」および「(2)上昇・下落しながら次第に推移していった場合」

(1-1) 一方向的に下落した場合



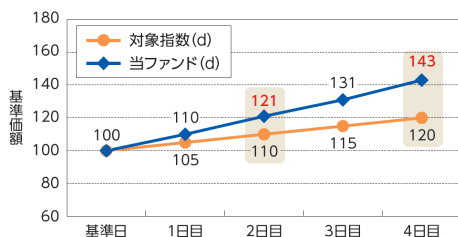
(2-1) 上昇・下落しながら次第に下落していった場合



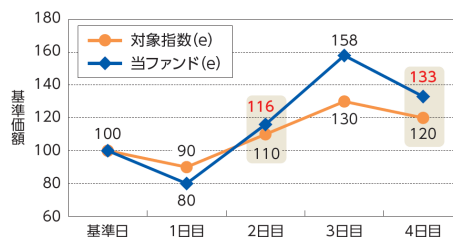
	基準日	2日目	4日目
対象指数	100	90	80
(1)一方向的に下落した場合	当ファンド(b)	100	⇒ 81 ⇒ 63
(2)上昇・下落しながら次第に下落していった場合	当ファンド(c)	100	⇒ 76 ⇒ 55

(1-1)、(2-1)の「2日目」、「4日目」において、「対象指数(b)」および「対象指数(c)」はそれぞれ「90」、「80」ですが、「対象指数(b)」に対応する「当ファンド(b)」と「対象指数(c)」に対応する「当ファンド(c)」では、「当ファンド(b)」の方が高い水準となっています。このように、対象指数が一方向的に下落する場合と上昇・下落を繰り返しながら次第に下落する場合とでは、最終的に対象指数が同じ水準になったとしても、上昇・下落をしながら次第に下落した場合の基準価額が押下げられることとなります。

(1-2) 一方向的に上昇した場合



(2-2) 上昇・下落しながら次第に上昇していった場合



	基準日	2日目	4日目
対象指数	100	110	120
(1)一方向的に上昇した場合	当ファンド(d)	100	⇒ 121 ⇒ 143
(2)上昇・下落しながら次第に上昇していった場合	当ファンド(e)	100	⇒ 116 ⇒ 133

(1-1)、(2-1)と同様に、対象指数が一方向的に上昇する場合と上昇・下落を繰り返しながら次第に上昇する場合とでは、最終的に対象指数が同じ水準になったとしても、上昇・下落をしながら次第に上昇した場合の基準価額が押下げられることとなります。

※上記グラフにおいて示される各数値は、小数点以下を四捨五入して算出した値です。

※上記は、基準価額の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

設定・運用: **大和アセットマネジメント**
Daiwa Asset Management

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○		
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○	○		○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

iFreeレバレッジ ATM+

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社SBI新生銀行 （委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券）	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○	○		
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社は今後変更となる場合があります。また、販売会社によって、新規のご購入の取扱いを行っていない場合や、お申込み方法・条件等が異なります。くわしくは、販売会社にお問合わせ下さい。